

議会

【議会に対して望むこと】

- ・議会をもっと身近なものであってほしい
- ・議員一人一人の活動報告
- ・ミニ国会ではだめ
- ・全員議会では発言及び質問をしてほしい
- ・議員はもっと市民の要望をよく聞き、議会で話をしてもらいたい
- ・市民の代表というより、地域の代表が含まれる
- ・議会開催日がよくわからない
- ・議会での議題が事前に分かったらよい
- ・議員の資質向上
- ・議会をもっと身近なものにしてほしい



【議会がすべきこと】

- ・議会の録画または生インターネット放送
- ・同一テーマに対する意見(考え)
- ・請願書や要望書が採決されるまでの過程
- ・議事録のすばやい公表
- ・市議は市全体を捉える努力をする

【制度】

- ・二院制
- ・選挙制度の工夫

市長

【市長に対して望むこと】

- ・予算の繰越しが認められない
- ・市のポリシーを具体的に都度示されることを望む
- ・マニフェストの評価
- ・職員の異動については慎重になるべき
- ・市民の意見発言の場を与えてほしい
- ・行政サービスに不公平がある(情報・ゴミ収集)



【市長がすべきこと】

- ・実施事業を評価して節約による残を良とする
- ・進捗評価(自己)を示す
- ・全市民を取り込んだ組織づくり
- ・市長は忙しすぎるのではないか、全ての場所に顔を出してなく、吟味する必要あり

【制度】

- ・市長との対話を設けてほしい

職員

【職員に対して望むこと】

- ・部署を超えた対応
- ・職員は自分の担当だけではなく、全体を見るべきだと思います
- ・職員は担当職務しかやらない
- ・仕事を移譲する
- ・笑顔での対応
- ・職員の人材育成を大事にしてほしい
- ・職員教育、人材育成を
- ・行政が美野里流である
- ・予算執行管理
- ・行政のリーダーシップ必要



【職員がすべきこと】

- ・接客のセミナーやサービス
- ・接客業での研修
- ・市役所各課の職務を分かりやすく

【制度】

- ・すぐやる課の様な部・課を設置

第2回ワークショップ 市政参画

【市民が持つ権利】

- ・安心して生活できる権利
- ・市民は安全で安心して暮せる権利がある
- ・安全、安心の生活
- ・市議会開催は昼だけでなく夜にあってもよいのでは
- ・行政だけに任せないで市民が何らかの形で参加する
- ・多種多様の行政と考えられるので、1年に1回小学校単位で行政懇談会、市長との意見交換の実施
- ・自動車の運行(排ガス)を少なくする為に小型化、低燃費化、相乗りの促進

【市民が担う責務】

- ・給食費納入など税金納入
- ・地域の活動に協力する責務
- ・納税の責務
- ・税金を支払う
- ・選挙は絶対に棄権しない
- ・政策形成等に参加するには自分の発言行動に責任を持たなければならない
- ・市民としての責任(納税・納入)を果たす、決められたことは守る

【心構え】

- ・郷土愛の心を育む
- ・高齢者の健康策、有酸素運動の促進
- ・怒ったり腹を立てたりしない生活の工夫
- ・自律心(自己)をもって参加する
- ・地域の垣根をつくらない
- ・企業は企業で、個人は個人で出来ることは処理する
- ・施設を利用して不都合な事があった時その事を伝えて改善してもらう
- ・ボランティア精神をもって地域活動に参加する
- ・目安箱みたいな市民の提案が出来る仕組みを作る
- ・ゴミ出しをへらす
- ・地域のあいさつ運動、幼・小・中・高・成人にまずは区長から声をかける運動

【役割】

- ・台所から出るゴミの肥料化
- ・自地基本条例の制定後一部改定の時も一般市民の意見を尊重されたい

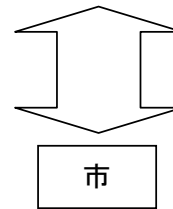
コミュニティとは

【どうあるべきか】

- ・現在ある区の単位で小さなことから始めていく
- ・行政に頼らず自分達で出来る事は自分達で
- ・楽しく、目的を決めて少しずつ面倒臭い事もする
- ・自主独立を目指すも参加(出席)について自由度をもたせる
- ・一部の人の参加でなく、より多くの参加が大切
- ・行政区の統一で各常会では頭を痛めているようだが、コミュニティづくりに入るとパニックになるのではないか

【まちづくりにおいて、コミュニティが行うこと】

- ・身近な問題より始めて
- ・日常の安全
- ・有事の時の対応
- ・まちづくりに於いてある統一した活動を決めておく必要あり
- ・地域差をなくす
- ・高齢化社会に対してのコミュニティの大切さ
- ・子供達の安全(通学路)を守るボランティアを募る
- ・団塊の世代を地域コミュニティ、ボランティア活動などに参加するように推進する
- ・日常生活における基本ルール(ゴミ出し)
- ・空き教室、空き店舗の活用



【コミュニティとの関わり方】

- ・市の行政サービスに係る事項について、全市民を取り込める情報提供(指導)を行う
- ・立上げは急ぐべきではないと思う
- ・自然発生的な活動を持ちながら
- ・今までに活動しているグループの例などを知らせていくのも必要
- ・団塊の世代の活用を
- ・行政と市民の接点、最重要位置づけ
- ・まちづくりの重要な役割がコミュニティである認識を
- ・市民が立ち上がるにはある程度の呼びかけはしてもらった方がよい

【コミュニティへのバックアップ】

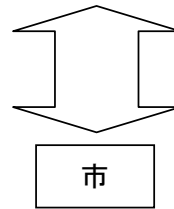
- ・コミュニティへの市の体制、地域担当制を
- ・市には新しく始めるための相談窓口があった方がよい
- ・世代、地域、テーマなど現状の分類調達
- ・団体、サークルを登録、公報し多数の参加が得られるよう工夫する
- ・補助金、助成金

【どうあるべきか】

- ・小さな集会に欠席者が多くなっている、出席出来るようにするにはどうするか
- ・勤務者世帯が多くなってきているので、開催は日曜日が望ましい
- ・各区、各学区毎にあるコミュニティ活動があるが、ある程度多様性があっても良い
- ・自治会への参加が減少しているのは、参加しなくても不自由がない為
- ・皆でやれる行事が少ないと思う
- ・地域の自立性を醸成(促す)する、当市の場合小学校、学区単位で組織
- ・コミュニティーにどうやって入れるの？
- ・お互いに助け合いができる安心して生活ができる地域
- ・地域は都市化の進行により、コミュニティ(地域共同体)が壊れていくという全国的傾向をくいとめる意気込みをもつ

【まちづくりにおいて、コミュニティが行うこと】

- ・地域住民との親睦、とけこみ、いざという時支えあえる地域
- ・定期的に河川と道路等の清掃(草刈等)
- ・自治会連合体(地域)として活動する
- ・市の祭りに出場するため、盆踊りの練習会を行いコミュニティ活動の促進に努力する
- ・老人会で行っている芸能発表会を若い人の中にも作る、練習を通して健康にもつながっていく
- ・フリーマーケット、各過程から使わなくなった衣類、食物、自転車等を出品した販売会を年1~2回行う、人々が集まれば親睦になる
- ・コミュニティ活動のリーダーを育成することが大事
- ・きけん道路マップを作ってほしい
- ・地域のゴミ集積所を当番制の清掃で、いつもきれいな集積所に保つ努力をする
- ・「隣近所を仲良く」を出発点にして、互いに話し合う機会をつくる
- ・地域コミュニティにおけるあいさつ運動を進める



【コミュニティとの関わり方】

- ・旧町村ごとに実施していた補助事業にかなり違いがある
- ・収入生活の安定があつてのコミュニティなので、無理な進め方はしない

【コミュニティへのバックアップ】

- ・補助金の交付に関し、俗に言う補助金漬けは避けるべき
- ・花をレクレーションではなく草刈り、ゴミ拾いに行政から資金を
- ・市が所有しているバスの台数とか利用方法をもっと公表して
- ・市は地域コミュニティの活動を支援する(企画・資金)
- ・議会は地域コミュニティの活動を支援する
- ・作業中の事故による保障、保健加入と実績に基づいた燃料費の支払い